


## 研修等 報告書

平成 31 年 3 月 27 日

三田市議会議長 厚地弘行 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	代表者	印
	議員名	小杉崇浩 
参加者氏名	小杉崇浩	印
講演会等研修名	自治体議員が知っておくべき「新地方公会計の基礎知識」	
研修事項	1. 新公会計制度を理解しよう 2. 官庁会計の決算の見方とチェックポイント 3. 新公会計制度の財務書類の見方とチェックポイント 4. 議会で活用しよう	
日 時	平成 31 年 1 月 24 日 (木) ~平成 31 年 1 月 25 日 (金)	
場 所	アットビジネスセンター池袋駅前別館	
所 見	<p>講師は、元習志野市の会計管理者で、現在は宮澤公会計研究所の代表を務めておられる方でした。自治体の会計の実務をよく把握しておられ、盛り沢山の内容にもかかわらず、とてもわかりやすい講義をしてくださいました。</p> <p>まずは、「1. 新公会計制度を理解しよう」というタイトルで、なぜ現金主義ではダメなのか、複式簿記の考え方とそのメリットについて説明がありました。現在の公会計で用いられている現金主義会計は、日本国憲法と財政法で規定されており、予算と決算をわかりやすく国民に説明するために必要であったが、地方自治体の会計では、会計年度内にすべての決済が終わるとはかぎらず、5月31日までに閉鎖するという出納整理期間を用いて修正現金主義として運用されている、とのことでした。また、複式簿記を導入することにより、資産を把握でき、減価償却の考え方で公共施設等を適切に管理することができるとのことでした。三田市においても、ニュータウン開発当時に建設された公共施設が老朽化してきており、そのマネジメントを考えるうえで減価償却の考え方が不可欠であると思いました。</p> <p>次に、「2. 官庁会計の決算の見方とチェックポイント」というタイトルで、決算審査の流れと決算書類の見方の説明がありました。議員の中には、予算の審議には興味を持つが、決算の審査は予算ほど熱心でないという人が</p>	

	<p>いるが、決算は、実際に行政がその年度に実施した事業の報告であり、それを検討しなければ、批判や評価はできないのではないかとのことでした。決算を見るには、歳入歳出決算書と歳入歳出決算事項別明細書をしっかりと理解する必要があるとのこと、その見方を詳しく説明いただきました。また、自治体の全体を把握するためには、決算カードを利用することがお勧めで、その見方も詳しく説明していただきました。基本的な決算の見方ということで、復習するところと新しく学んだところがありました。今後もしっかりと決算審査ができるように学んでいきたいと思ひます。</p> <p>次は、「3. 新公会計制度の財務書類の見方とチェックポイント」というタイトルで、新公会計制度作成される財務諸表4表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）の見方の説明がありました。講義の内容は専門用語の説明がほとんどでした。まずは専門用語に慣れることが重要だと思ひました。別途購入したテキストを基に、さらに勉強していきたいと思ひます。</p> <p>最後に、「4. 議会で活用しよう」というタイトルで、新公会計制度のかみ砕いた説明と習志野市での活用事例の紹介がありました。習志野市の活用事例は、「バランスシート探検隊」という事業で、新公会計制度の財務諸表のうち、貸借対照表を大学生や高校生と一緒に読み解き、実際に視察も行いながら、財政状況を勉強していこうというものでした。新公会計制度は、一見するととても難しく、なかなか理解できそうもないものですが、小学校や橋など、身近に感じられるものを題材に学ぶことで、親しみがわくと同時に、理解もしやすくなるのだと思ひました。</p>
<p>添付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日配布資料</li> <li>・パンフレット</li> <li>・当日会場写真</li> </ul>

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

自治体議員が知っておくべき  
「新地方公会計の基礎知識」

日時：平成31年1月25日（金）

場所：アットビジネスセンター池袋駅前別館

（元習志野市会計管理者）

宮澤公会計研究所 代表 宮澤 正泰



1

## 目次

1. 新公会計制度を理解しよう
2. 官庁会計の決算の見方とチェックポイント
3. 新公会計制度の財務書類の見方とチェックポイント
4. 議会で活用しよう

2